

# 「第6・30回 港南区の歴史散歩」

## 1. 日時、コース

- (1) 日時 : 第6回 : 平成14年3月2日 9:00~12:00  
第30回 : 平成16年6月5日 9:00~12:00

- (2) コース : 日野川左岸の道 (第30回)

上大岡かみ前 (上大岡西 1-15) → 福聚院 (港南 1-3) → 庚申塔・馬頭観音塔 (港南 1-16) → 港南隧道配水地笹下ポンプ場 (港南 1-22) → 果樹園 (港南 2-15) → 正覚寺 (港南 2-11) → 富士塚 (港南 3-11) → 日野2 経由 → 権現堂碑 (日野 1-2) → 地下鉄港南中央駅



注1: 囲み数字 (例=③) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

## 2. 当日のスナップ

大化の改新前後あたりから、伝馬や宿駅の制度により権現堂宿駅が生まれたようです。日野川左岸の古道は久保村から松本村・吉原村・金井村を通り、各地方から鎌倉に通じるかまくら下の道で「七里堀」が高い尾根筋を走っていました。川筋の道は鎌倉道の間道として、又 里人の生活の道でもありました。鎌倉・室町時代は戦略道路として使われ、江戸時代は景勝の地、金沢や鎌倉への物見遊山の道にもなりました。幕末の黒船来航以後、風雲急を告げる時代は江戸湾防衛にあわただしい動きもありました。江戸時代（文政 11 年=1828 年） 民戸数は久保村 24 戸、松本村 64 戸、吉原村 40 戸、金井村 42 戸で戸数も以外に多かったと思います。昭和 2 年頃より大岡川周辺に捺染工場が出来、昭和 10 年代に栄えましたが、平成になり衰退しました。

- (1) 京急上大岡駅前  
昭和 46 年、駅前通り  
建物は東光ストア  
その後建替え



- (2) 笹野橋付近  
右が日野川、右端が笹野橋  
捺染工場はこの先にあった



- (3) 福聚院前  
正面が本堂、左にタブの  
古木（樹齢 300 年）



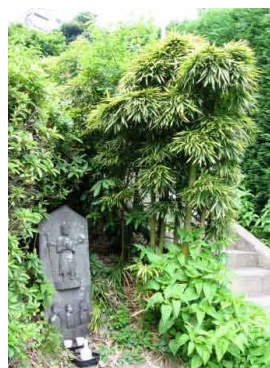
- (4) 福聚院本堂  
高野山真言宗  
本尊は如意輪観音



- (5) 福聚院タブの木と石仏  
馬頭観音、庚申塔ほか



- (6) 福聚院裏の  
港南 1-16 の  
庚申塔④



(7) 港南 1-17  
荻久保家  
庭の馬頭観音④



(8) 港南ずい道配水地笹下ポンプ場  
港南 1-22、 港南区に別れる前  
ここは南区笹下だった



(9) 金子農園 港南 2-15  
ポンプ場先より左に下ると  
と果樹園がある



(10) 正覚寺前六地藏  
笹下城 出城の松本城  
があった 港南 2-11



(11) 正覚寺山門  
山門を入ると右に  
観音堂 (S53 落慶) がある



(12) 正覚寺本堂⑤  
正長元年 (1428) 開基  
浄土宗



(13) 富士塚⑦  
ここは港南 3-11  
北見宅の敷地



(14) 権現堂跡  
港南 3-22 より見る  
正面 木に囲まれた左手



(15) 権現堂碑  
港南スポーツセンターの裏  
港南 6-5 に碑があった



以上